

**断熱玄関ドア Venato D30**  
**断熱玄関ドア Venato D30 防火ドア**

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「断熱玄関ドア Venato D30」、「断熱玄関ドア Venato D30 防火ドア」の施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 防火商品は、防火設備として国土交通大臣の個別認定を受けた商品です。組立業者様に、必ず施工上の注意事項を確認したうえで、施工を行ってください。
- 本説明書は、必ず施工される方にお渡しください。お施主様向けの取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックは、必ずお施主様にお渡しください。

**本書内の表記**

- 商品の施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の施工を行ってください。

**警告／注意／お願い**

表記	意味
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

**その他の表記**

表記	意味
 <b>注意</b>	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
 <b>Check</b>	確認していただきたい内容を示しています。

**安全にお取扱いいただくために**

**警告**

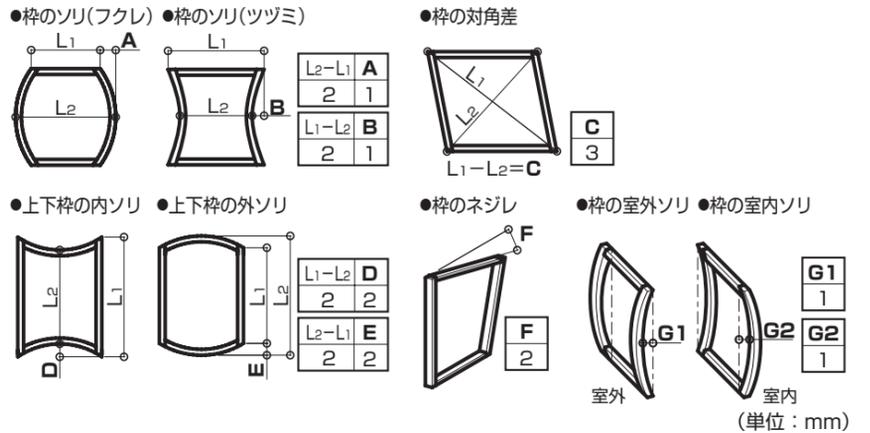
- 電気工事は、電気工事士の資格が必要です。関連する法令・規定を遵守し、必ず電気工事士が行ってください。漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 電気配線は、折り曲げたり、はさんだり、傷をつけたりしないでください。漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。

**注意**

- 施工の際は、必ず同梱部品を使用してください。特に防火商品は、認定仕様以外の部品を使用すると大臣認定仕様不適合となるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の加工、施工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼすおそれがあるだけでなく、防火商品の場合は、大臣認定仕様不適合となるおそれがあります。
- 商品の切詰め加工はしないでください。性能に影響を及ぼすおそれがあります。
- 施工は所定のねじを使用し、最後まで締付けてください。締付け不良は、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 枠は柱に対して取付けてください。柱に取付いていない場合、商品の機能が発揮されないだけでなく、脱落事故につながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取扱いには十分注意してください。破損、変形した商品を取付けた場合、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、適正トルクでねじ留めしてください。締付けトルクは以下を目安に設定してください。  
**2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm)**

**お願い**

- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害につながるおそれがあります。
- 枠取付精度について  
枠取付精度が下記寸法以下になっていることを確認してください。許容範囲を超えた場合、開閉不良、性能低下の原因になりますので調整または再施工を行ってください。



- 扉を開閉する際に、壁や照明など周囲にぶつかり、破損するものがないことを確認してください。必要に応じて戸当り(オプション)をご利用ください。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品の運搬、施工、吊込みは、相応の人数で行ってください。（最大で約60kgになります。）
- 商品表面に傷がつかないように、取扱いには十分注意してください。傷がつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液(1~2%)を使用してください。酸・アルカリ・塩素系の洗剤液は、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 商品の上にとったり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形して故障したり、転落によりケガをしたりするおそれがあります。

**同梱一覧**

**■ 枠ユニット**

番号	①	②	③
姿 図			
品 名 (単位: mm)	皿木ねじ (φ3.5×25)	皿木ねじ (φ3.8×55)	皿木ねじ (φ3.1×20)
品 番	<b>WF-3525</b>	<b>WF-3855</b>	<b>WF-3120</b>
個 数	片開き	13	11
	親子	13	12
	両開き	14	13
	片袖FIX	14(※)	13(※)
	両袖FIX	14(※)	13
備 考	室外側 枠取付け用	室内側 枠取付け用	アングル部取付け用 (アングル付枠のみ)

※W≤1354の場合、ねじは1本余ります。

**■ ドアクローザユニット**

番号	④
品 番	<b>6K-16135</b>
個 数	1
備 考	バックチェック機構付

**オプション品**

**■ 戸当り**

品 番	<b>BS-D-503A</b>	<b>BS-D-503B</b>	<b>BS-D-503C</b>
備 考	L=42	L=95	L=130

# 施工前の確認

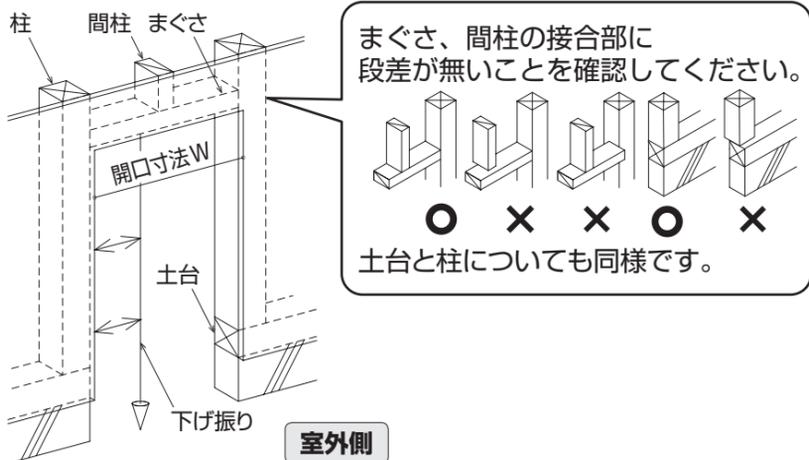
## 開口部の確認

1. まぐさが、柱・間柱に強固に接合されていることを確認してください。
2. 柱やまぐさ・間柱・土台の接合部に段差が無いことを確認してください。
3. 下げ振り、水準器などを使用して、開口部のねじれ・水平・垂直を確認してください。
4. 開口寸法を確認してください。

	W	開口寸法W
3R	922	932
4.5R入隅	1135	1145
4.5R	1235	1245
6R	1690	1700

	H	開口寸法H
DH=23	2330	2335

(単位: mm)



# 柱・まぐさの切欠き (スマートコントロールキー AC100V式の場合)

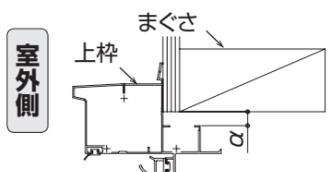
- Check**
- ・スマートコントロールキー AC100V式の場合、枠内配線コードを壁内に通すため、丁番側の柱または、まぐさに切欠き加工が必要となります。
  - ・図は木造納まりを想定した切欠き加工例の1つです。施工の際は、実際の躯体構造に適した方法で枠内配線コードの取出口を確保してください。

1. 切欠き加工の位置を確認してください。図は右勝手の場合を示しています。

### 《片開き枠・親子枠・両開き枠・片袖FIX枠》

切欠き箇所	a
片開き	453
親子	
両開き	
片袖FIX	

(単位: mm)

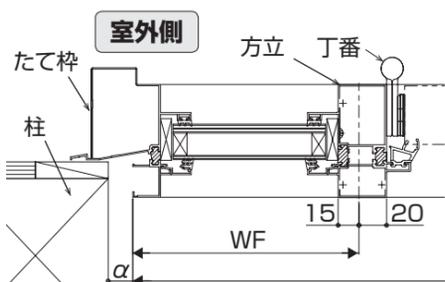


α: 枠とまぐさのチリ寸法

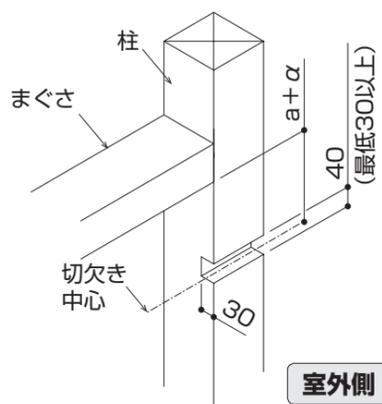
### 《両袖FIX枠》

切欠き箇所	b
両袖FIX	159 (WF+2.5)

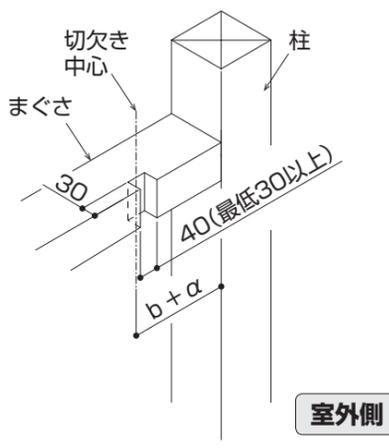
(単位: mm)



α: 枠と柱のチリ寸法



(単位: mm)



(単位: mm)

2. 手順1.を参考に、柱または、まぐさに切欠き加工をしてください。

# 枠の取付

## 警告

- ・枠内配線コードを、枠と躯体にはさまないでください。漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。

## 枠取付前の準備

### (スマートコントロールキー AC100V式の場合)

1. 枠の取付け前に、枠内配線コードがたて枠(丁番側)に通してあることを確認してください。両袖FIX枠の場合は、枠内配線コードが方立(丁番側)に通してあることを確認してください。



- ・枠内配線コードを通していない場合は、組立説明書を確認のうえ、たて枠に通してください(両袖FIX枠の場合は方立)。枠を躯体に固定した後は、枠内配線コードを通すことができません。

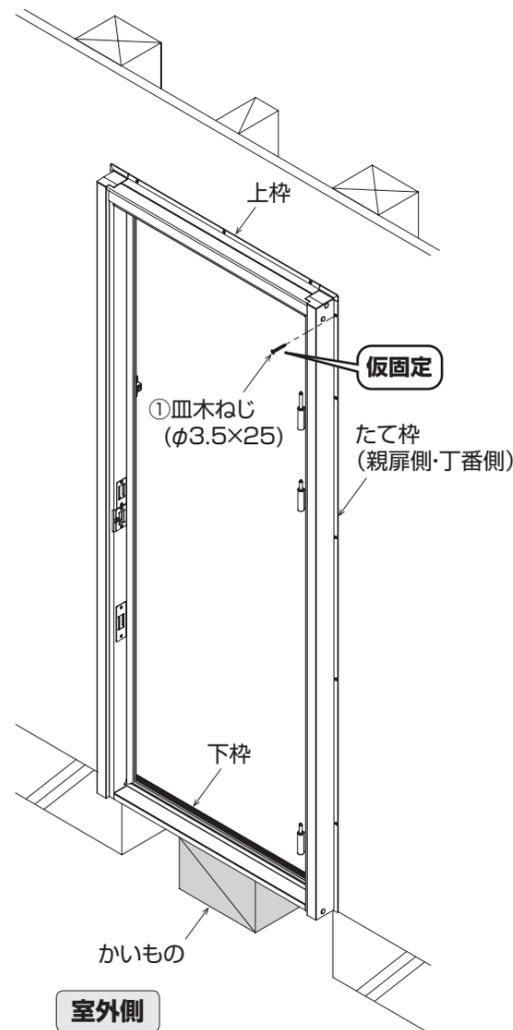
2. 束ねてある配線コードのテープを外してください。

## 枠の取付

1. 丁番側のたて枠上端部を仮固定してください。親子枠・両開き枠の場合は、親扉側・丁番側のたて枠上端部を仮固定してください。
2. 下枠の下部に、かいものを設置してください。

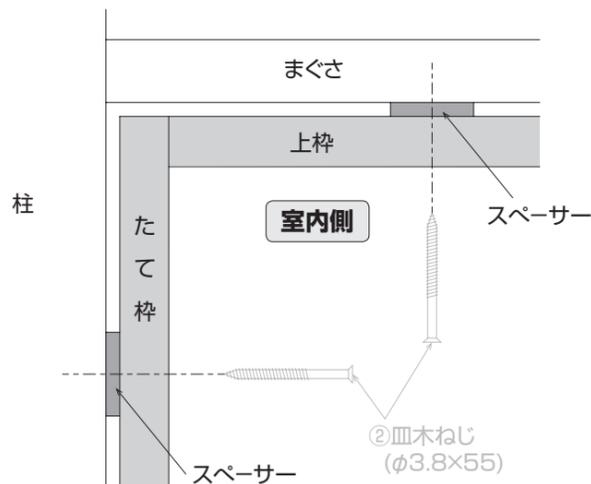
## 注意

- ・下枠にのらないでください。枠が変形し、性能に影響するおそれがあります。



(単位: mm)

3. 下げ振り・水準器などを使用し、枠の反り・対角差・ねじれを確認してください。
4. 枠と躯体のすき間にスペーサーを入れてください。



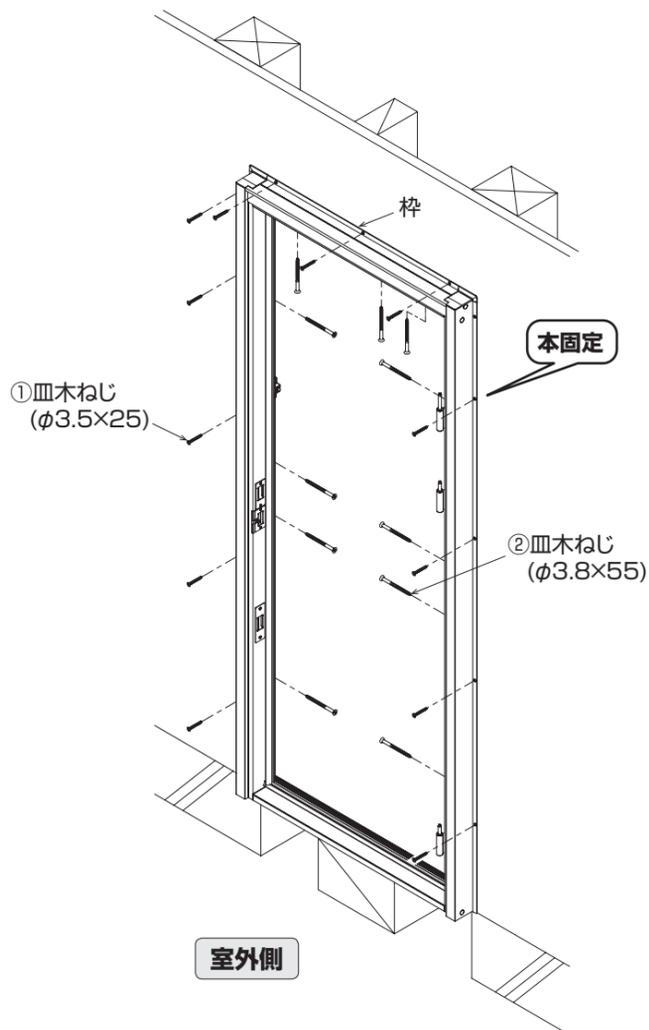
(単位: mm)

## 枠の取付 (つづき)

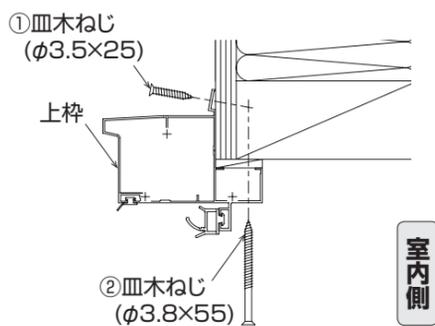
5. 枠を躯体に、室外側→室内側の順に本固定してください。



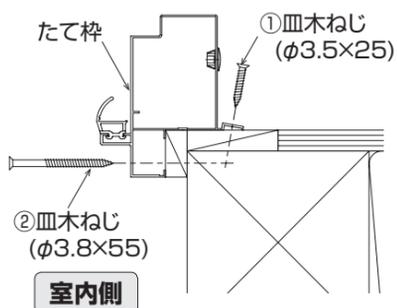
- アングル付枠用ねじ：③皿木ねじ(φ3.1×20)は、額縁取付けまで無くさないように保管してください。



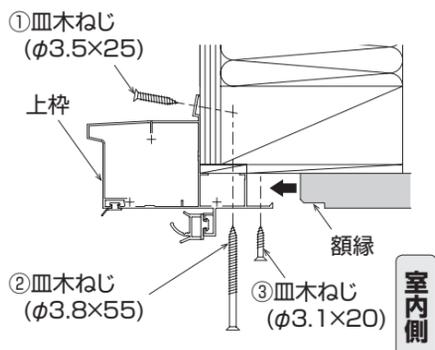
### 《上枠部》



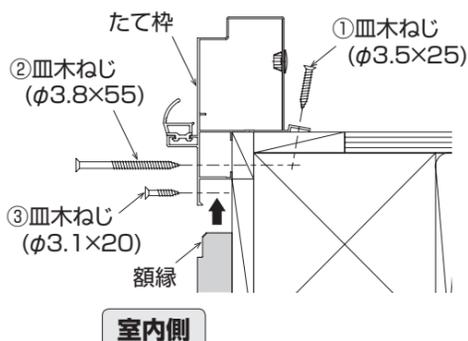
### 《たて枠部》



### 《アングル付上枠部》



### 《アングル付たて枠部》



(単位：mm)

## 枠取付後の確認

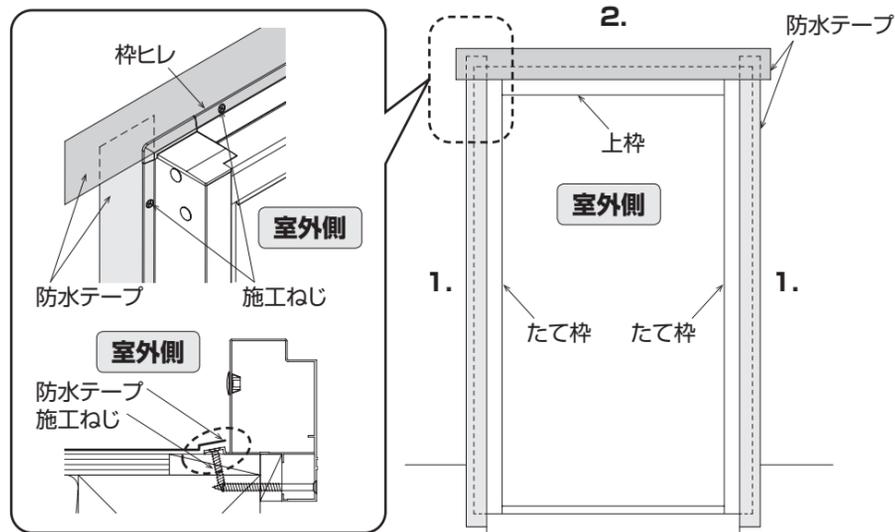
1. 枠が許容範囲以内で取付けされていることを確認してください。  
許容範囲：(-2-「枠取付精度について」参照)
2. ねじのゆるみ、ガタつき、その他使用上、危険な箇所が無いことを確認してください。

## 防水テープの貼付

### ⚠ 注意

- 枠取付け後、必ず防水テープで防水処理を行ってください。防水処理が正しく行われないと、漏水により家屋や家財を傷めるおそれがあります。
- 防水テープは、施工ねじが見えなくなるように貼付けてください。

1. たて枠のヒレ部に防水テープを貼付けてください。
2. 上枠のヒレ部に防水テープを貼付けてください。

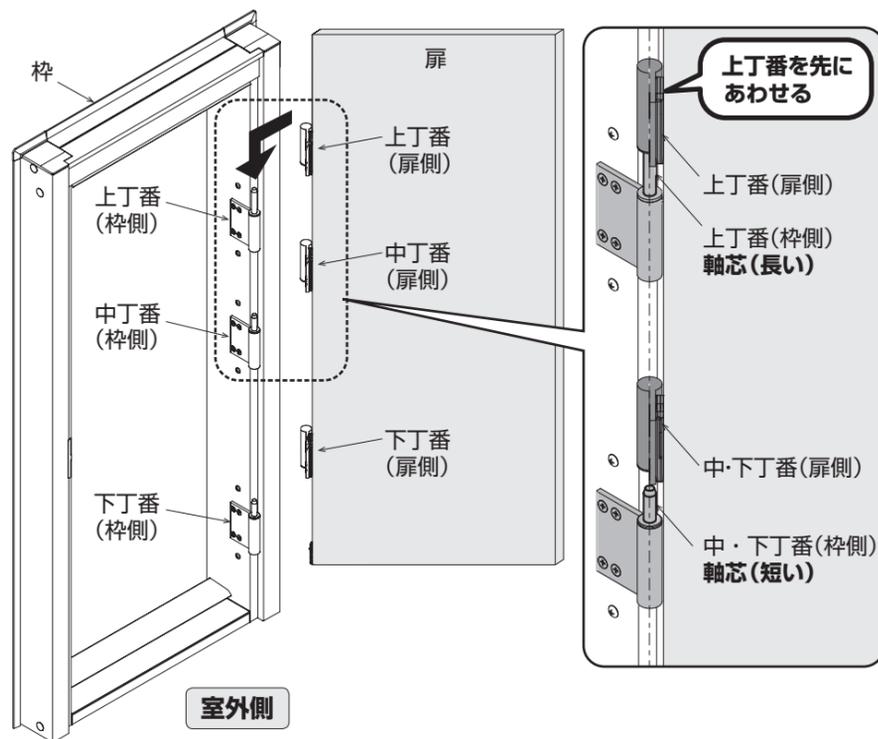


## 扉の吊込み

1. 扉を枠に吊込んでください。  
上丁番の軸芯は、中丁番・下丁番より長くなっています。  
上丁番の軸芯をあわせてから、吊込んでください。



- 吊込み治具(オプション 品番：BS-D-602)を使用すると吊込みやすくなります。



## ドアクローザの連結



1. ドアクローザに同梱の取付説明書に従って、連結してください。

# 通電金具の取付 (スマートコントロールキー AC100V式の場合)

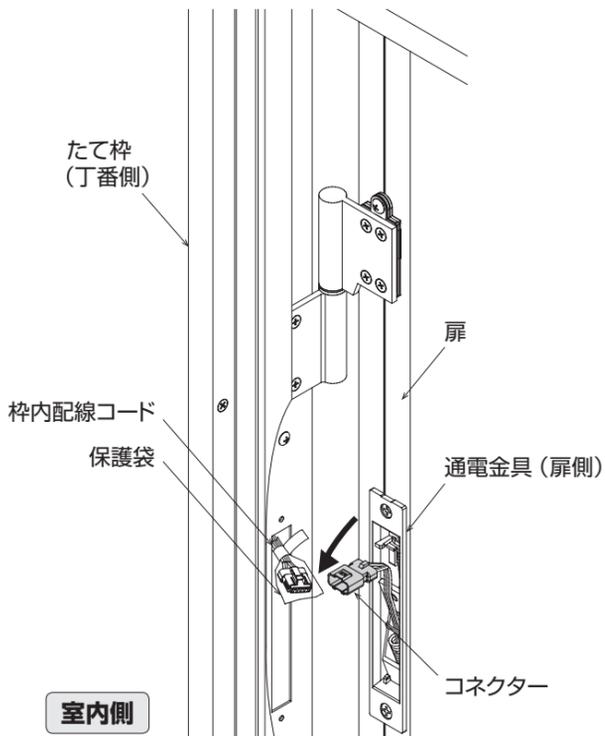
## お願い

- 枠内配線コードおよび通電金具は、傷つけないようにしてください。枠内配線コードおよび通電金具に傷がついた場合、異常動作や、不動作→動作不良の原因になります。
- コネクターは正しい向きで接続してください。コネクターはカチッと音がするまで、まっすぐ奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全な場合、異常動作や不動作の原因になります。
- コネクターの保護袋は、コネクターを接続する直前まではずさないでください。コネクターに、ほこり・水が付着すると異常動作や動作不良の原因となります。

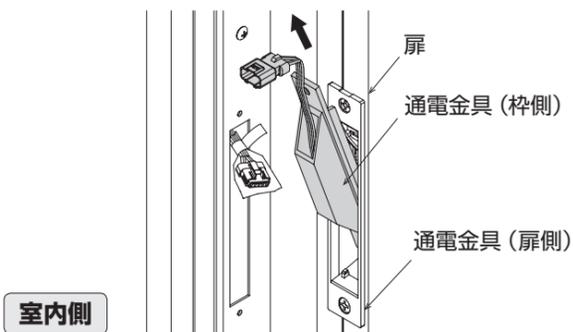


- 通電金具 (扉側) は工場取付け済みです。通電金具 (枠側) は通電金具 (扉側) の中に収納してあります。通電金具 (枠側) の取付ねじは、通電金具 (扉側) に添付してあります。

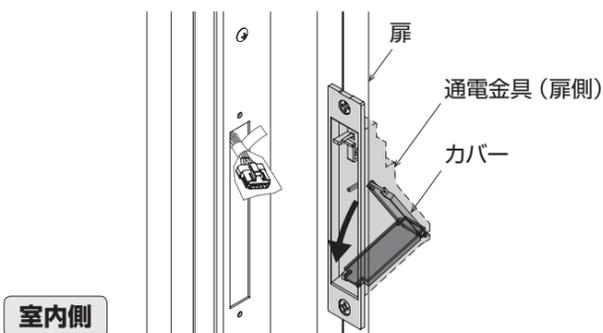
1. 通電金具 (扉側) に固定されているコネクターを外してください。



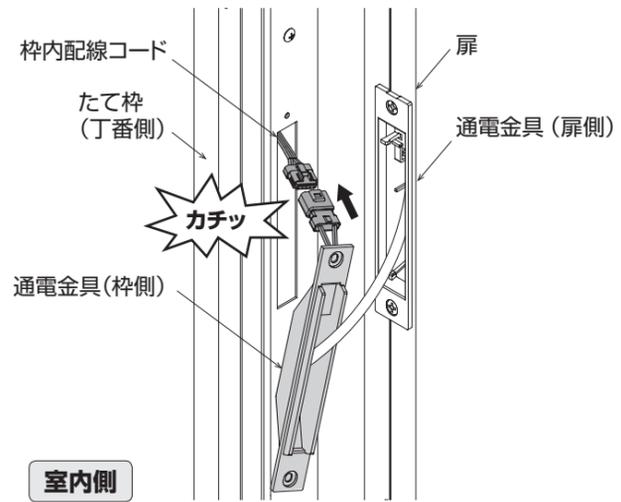
2. 通電金具 (扉側) の中から、通電金具 (枠側) を取出してください。



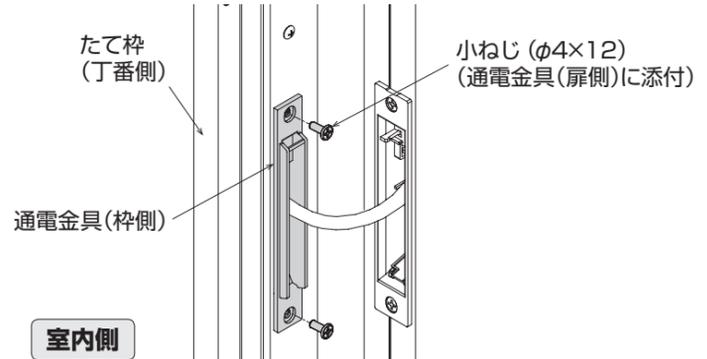
3. 通電金具 (扉側) の中のカバーを下げ、最後まで確実に閉じてください。



4. 枠内配線コードと通電金具を接続してください。



5. 枠内配線コードをたて枠 (丁番側) に押し込み、通電金具 (枠側) を取付けてください。



(単位:mm)

## 枠施工後の確認

1. 枠と扉が干渉しないことを確認してください。
2. ロックやラッチがスムーズにかかることを確認してください。

## 戸当り (オプション) の取付

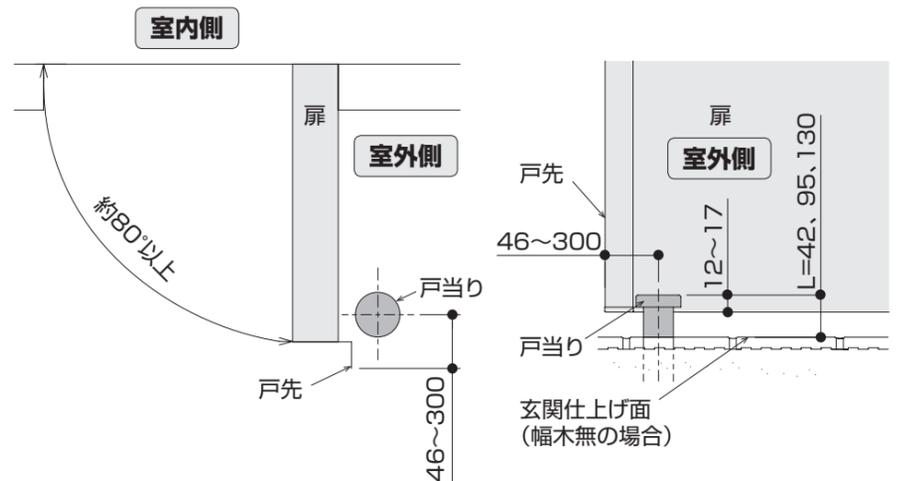


- 戸当りは適正な位置に取付けしてください。適正な位置に取付けされない場合、破損や扉表面の凹みが発生するおそれがあります。



- 玄関の納まりにあわせて、戸当りを選択してください。(−2−「オプション品」参照)
- 戸当りは、衝突による破損を完全に防ぐものではありません。無理な力で扉を開閉すると扉表面、戸当りの変形の原因となります。

1. 下記に従って、戸当りの取付け位置を確認してください。
  - 扉下端から戸当り上端までの寸法：12~17mm。
  - 戸先から戸当り中心までの寸法：46~300mm。
  - 扉のモール、額縁に戸当りがあたらない位置。
  - 扉が約80°以上開いたときに、戸当りがあたる位置。
2. 手順1.で確認した位置に戸当りを取付けしてください。



(単位:mm)